

2 施設基本計画

2-1 配置計画

■建物配置計画

- ・ 駐車場 兼 イベント広場をまとまりのあるスペースとして確保することを前提とした建物配置計画とします。
- ・ 敷地北側に複合施設を配置し、日当りのよい南側に駐車場 兼 イベント広場を配置した計画とします。また、イベント用倉庫を既存建物の西側に配置します。
- ・ 小公園を北側に配置し、北側道路と東側道路からのアプローチが可能な計画とします。
- ・ 外部トイレを小公園付近に配置し、複合施設の開館時間外でも利用できる計画とします。

■動線計画

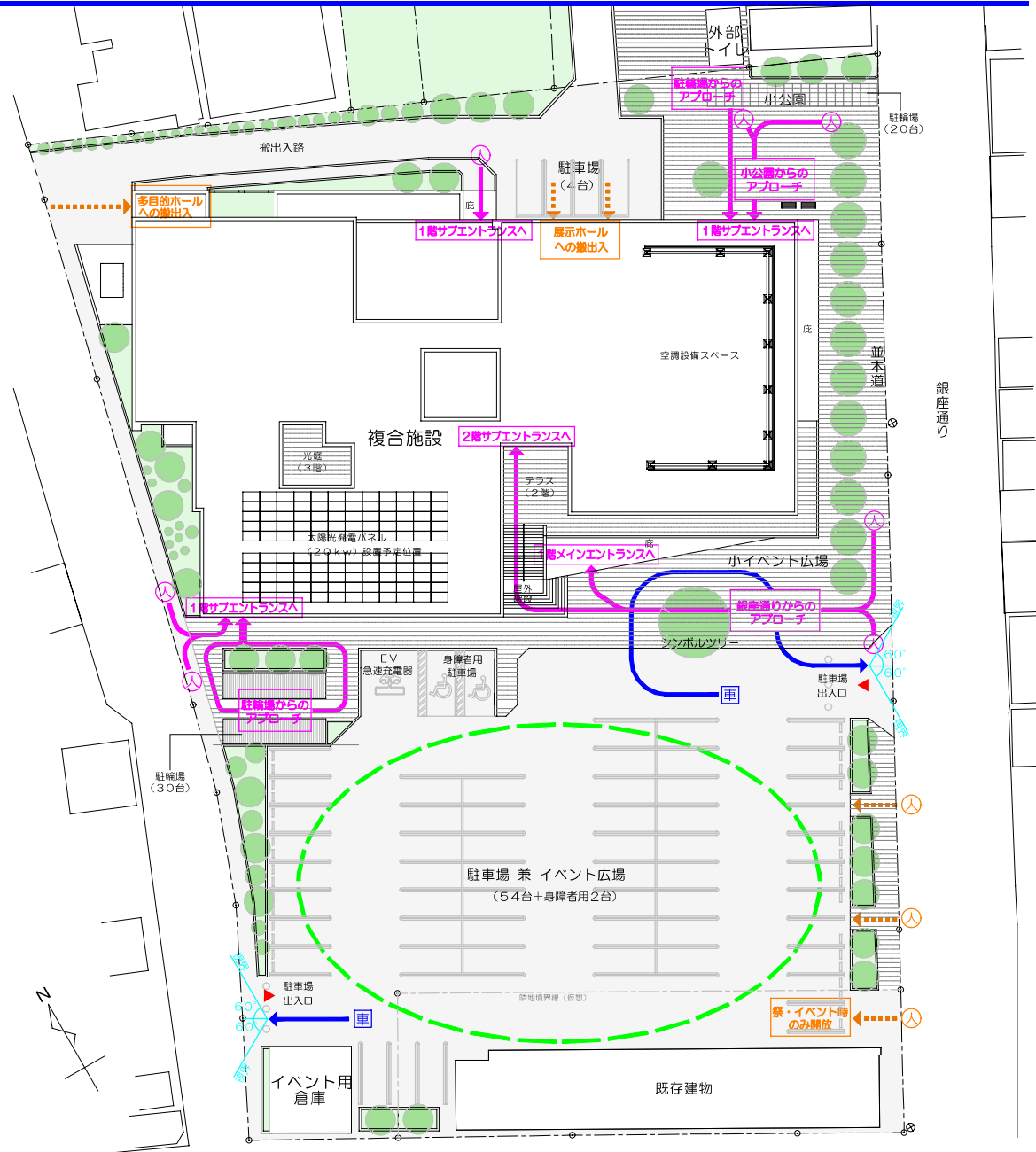
- ・ メインエントランスを1階南側に配置し、サブエントランスを1階南側及び北側（2ヶ所）、2階南側に配置します。東側道路（銀座通り）、西側道路、北側（小公園）からの利用者に対してアプローチしやすい計画とします。
- ・ 車両動線は、東側（銀座通り）、西側の2か所からアプローチができる計画とします。
- ・ 自動車を利用して訪れる高齢者や身障者等の方がスムーズに乗降できるように、シンボルツリーを中心として車寄せを設けます。
- ・ 北側搬出入路より、展示ホール及び多目的ホールへの搬出入が行える計画とします。

■駐車場・駐輪場計画

- ・ 駐車台数は56台（一般車用54台+身障者用2台）、北側バックヤードに4台設け、合計60台計画します。駐輪場は建物南側に30台（屋根付き）と、北側の小公園に20台計画します。
- ・ 駐車場は見通しの良い平面計画とします。イベント・祭り時を考慮し、駐車場の端以外は車止めブロックを無しとして計画します。

2-2 ユニバーサルデザイン

- ・ あらゆる世代の人々が利用する本施設において、小さな子どもから乳幼児を抱えた主婦、高齢者の方々など、ユニバーサルデザインの観点から誰もが使いやすい施設づくりを目指します。

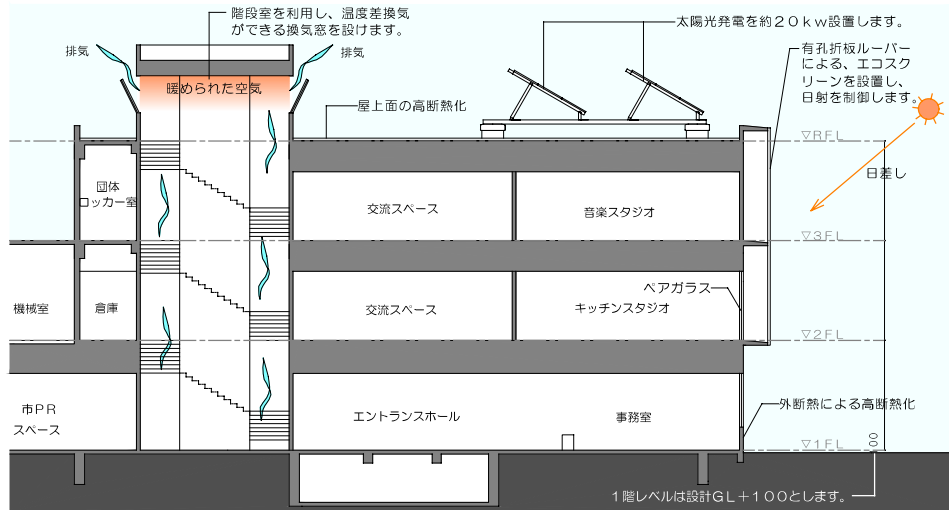
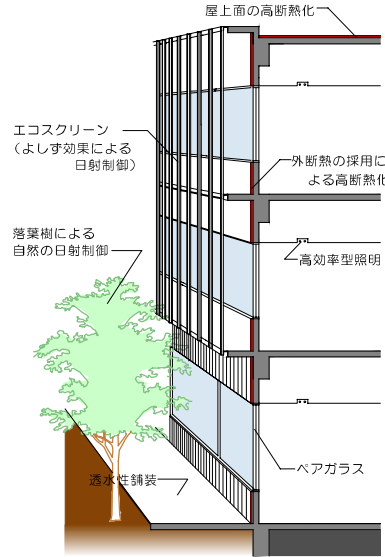


2-3 環境配慮計画

- ・環境にやさしく、人にやさしい施設づくりを目指します。
- ・外壁面と屋上面は外断熱とし、高断熱化を図る計画とします。
- ・開口部は有孔折板ルーバーによるエコスクリーンを設けることにより、日射制御（よしず効果）を行います。また、ガラス面はペアガラスを採用し、開口部の断熱効果を高めた計画とします。
- ・省エネ化と再生可能エネルギーを積極的に導入した施設計画とし、下記に示す環境配慮項目を検討します。

<環境配慮検討項目>

「光」 のエコ	・太陽光発電 ・自然採光+明るさセンサー ・人感センサー ・高効率型照明器具
「風」 のエコ	・自然通風の促進 ・温度差換気 ・風力発電
「水」 のエコ	・気化熱利用（ドライミスト） ・透水性舗装 ・節水器具
「熱」 のエコ	・高断熱化 ・開口部の日射制御 ・開口部の高气密化 ・クールピット（検討中）
「緑」 のエコ	・敷地内緑化 ・落葉樹による日射制御システム



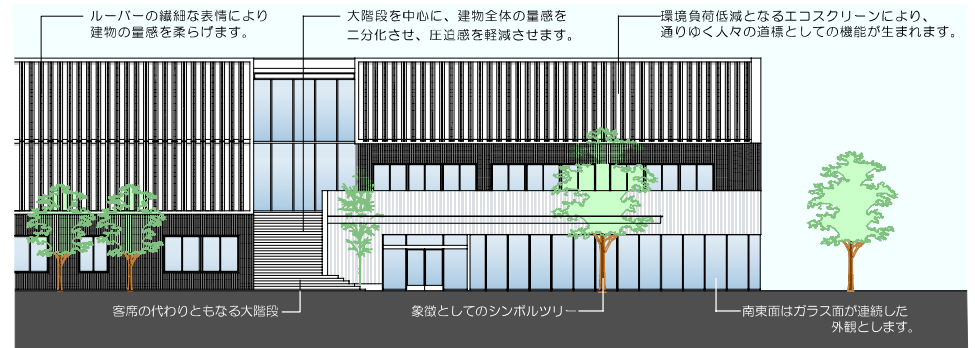
部分断面図

2-4 外装計画

- ・市街地の中心に建つ複合施設として、街並みを活性化させ、時代を先導させる存在感のある立面計画とし、新しい景観を創り出す建築を目指します。
- ・日本の昔ながらの建物の色でもある、白～灰～黒を基調とした外装とし、現代的な表情をつくりながらも街並みと調和させ、本庄まつりの山車の集まる場所として「和」を感じられる外観づくりを目指します。



- ・環境負荷低減の意味も含めた有孔折板ルーバーによるエコスクリーンは、新しい現代的なファサードをつくります。日本の伝統的な手法でもある「よしず効果」により、環境負荷低減に寄与しながら、通りゆく人々の道標となる外観づくりを目指します。
- ・エコスクリーンは、昼景では内外空間を柔らかく仕切る境界線を構成し、夕景では内部の活動をほのかに映し出し、スクリーン効果による1枚の白い紗幕となります。
- ・建物全体の量感が、正面大階段を中心に大きく二分化していることにより量感が分節され、エコスクリーンによるルーバーの繊細な表情により、建物の全体の量感を柔らげ、周囲への圧迫感を軽減させた外観づくりとします。



部分南立面図

- ・銀座通り側は、ガラス面の連続したファサードとし、1階交流スペースの様子が商店街側からもうかがえる計画とします。気軽に立ち寄れる施設となるように配慮し、にぎわいを創出し、にぎわいを呼び寄せることができる計画とします。